

校種・教科名	家庭	保育	単位数	2単位	普通科	3年
学習到達目標 乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を学び、乳幼児に関わる意欲や能力、実践的な態度を身に付ける。						

学期	学習内容	時数	学習のねらい
一 学 期	オリエンテーション	1	・学習内容について理解する。
	1. 子どもの発達の特徴 ①発達と乳幼児期の意義 ②発達と保育環境 ③児童観と発達観	5	・人間の発達に関心を持ち、乳幼児期が人間の発達基礎を培う時期であることを理解する。
	2. 子どもの発達の過程 ①子どもの発育 ②子どもの精神発達 ③人間関係の発達	12	・新生児が母体外の環境に適応するため、特に養護に配慮しなくてはならないことを理解する。 ・身体発育の特徴と傾向を理解する。 ・精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解する。
	3. 保育検定	8	・実習を通して、製作技術を身に付ける。
二 学 期	4. 子どもの生活 ①生活と養護 ②子どもの遊び ③生活習慣の形成 ④健康管理と事故防止	30	・乳幼児の生活の特徴を学び、発育・発達に応じた養護が必要なことを理解する。 ・母乳栄養や離乳食の重要性を理解する。 ・乳幼児の身体的特徴を踏まえた衣服選択について理解する。 ・乳幼児は遊びを通して発達・発育し、保育者の適切な働きかけが必要なことを理解し、児童文化財を製作する。 ・生活習慣形成の意義と重要性を理解する。 ・日常の健康状態の観察など、乳幼児の健康を守るための保育者の役割を理解する。 ・乳幼児の成長段階における事故の実態と原因などを学び、安全教育のために保育者が努めなければならないことを理解する。
三 学 期	5. 子どもの保育 ①保育の意義と重要性 ②家庭保育と集団保育 ③保育の方法	8	・現在の保育をめぐる問題を取り上げ、高校生として保育を学ぶ意義を理解する。 ・保育の場として家庭保育と集団保育があることを知り、それぞれの特徴や役割を学び、子どもの成長・発達に両方が必要であることを理解する。
	6. 子どもの福祉 ①子供の福祉 ②子育て支援	5	・児童福祉の理念や法律と制度について学び、次代を担う児童の健全育成を目的としていることを理解する。 ・子どもを取り巻く環境の変化に対応して、子育て家族に対する社会的支援を充実させる必要があることを理解する。
	まとめ	1	

使用教材等 教科書・・・実教出版「子どもの発達と保育」		
各学期の テスト・ 課題・提出 物・実習態 度	1 学期	テスト（60%）
		課題・提出物・授業（実習）態度（40%）
	2 学期	テスト（60%）
		課題・提出物・授業（実習）態度（40%）
	3 学期	テスト（60%）
		課題・提出物・授業（実習）態度（40%）
留意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルは提出状況と記入内容に重点を置いて評価する。 ・個人・グループでの製作活動を行い、実習態度をチェックし評価に加味し、製作作品の点数は比重を大きくする。 		